

IFRS 対応会議の活動状況

せきぐち ともかず
ASBJ 専門研究員 関口 智和

1 はじめに

平成 21 年 7 月に発足した IFRS 対応会議（議長：萩原敏孝 財務会計基準機構（FASB）理事長）¹は、我が国における国際財務報告基準（IFRS）導入に向けての環境整備に積極的に取り組んできている。前回報告以降、第 8 回 IFRS 対応会議、及び、IFRS 対応会議主催の記者懇談会が開催されている。本稿において、これらについて、概要を報告させていただく。

2 第 8 回 IFRS 対応会議について

第 8 回 IFRS 対応会議は、平成 23 年 2 月 21 日、メンバー及びオブザーバーが参加した上で開催された。同委員会における主な審議内容は、以下のとおりである。

(1) メンバーの交代について

IFRS 対応会議及び国際対応委員会に、関西経済連合会 奥田専務理事がメンバーとして就任することが提案され、承認された。また、教

育・研修委員会及び広報委員会のメンバーの選退任についてもそれぞれ承認された。

(2) 会計基準を巡る最近の動向

① 当局における動向

会計基準を巡る当局における最近の動向に関して、IFRS 採用を巡る各方面からの意見や IFRS 財団モニタリング・ボードのガバナンス改革等について、金融庁 森本総務企画局長より説明が行われた後、メンバーによる情報・意見交換がされた。

② IFRS 財団トラスティーにおける動向

平成 23 年 2 月 10 日から 11 日に東京で開催されたトラスティー会議の様態及びアジア・オセアニアのサテライトオフィスの東京への設置について、藤沼・島崎トラスティーより報告・説明が行われた。

③ 会計基準設定主体における動向

企業会計基準委員会（ASBJ）において行われている国際会計基準審議会（IASB）への意見発信、IFRS 実務対応グループによる活動、米国財務会計基準審議会（FASB）との定期協議の様態、アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG）の活動について、西川

1 IFRS 対応会議の概要については、本誌第 26 号（2009 年 9 月 15 日刊行）「特集 1 IFRS 導入に向けて」を参照されたい。

委員長より報告が行われた。

④ 単体財務諸表に関する検討会議の経過について

単体財務諸表に関する検討会議について、同会議の萩原議長（FASF 理事長）より、これまでの経過について説明が行われた。

(3) アジア・オセアニア地域の連携強化に向けた取り組み

最近におけるアジア・オセアニア地域の連携強化に向けた取り組みとして、インド勅許会計士協会主催の国際コンファレンスへの参加及び日印 IFRS ダイアログ準備会合の実施の模様について、島崎国際対応委員長より説明が行われた。また、日中韓 3 か国会計基準設定主体による会議の模様について、ASBJ 西川委員長より説明がなされるとともに、2 月 8 日に開催されたオーストラリアにおける IFRS の実務的導入に関する特別講演会の開催について、木下教育・研修委員長より説明が行われた。

(4) 実務対応委員会からの活動報告

各実務対応委員会の各委員長から、前回報告（平成 22 年 5 月 21 日会議）以来の活動について報告が行われた。主な内容は、以下のとおりである。

① 教育・研修委員会

平成 22 年 10 月 28 日に第 5 回教育・研修委員会が開催され、主に以下に関する情報・意見交換がされた。

- マスコミ向け活動の強化・各団体からの取材内容や報道内容の共有
- Web サイトを活用した一般へのコンテンツ提供の重要性
- 経営者や一般投資家への周知や広告

② 翻訳委員会

平成 22 年 6 月 15 日に第 5 回、10 月 14 日に第 6 回の翻訳委員会が開催され、主に以下に関

する検討・確認が行われた。

- IFRS 2010 日本語版のスケジュール等の確認
- XBRL タクソノミーの翻訳作業
- IFRS 2009 日本語版へのフィードバック
- IFRS for SMEs の翻訳

③ 広報委員会

平成 22 年 9 月 9 日に第 7 回、10 月 28 日に第 8 回の広報委員会が開催され、以下に関する検討が行われた。

- 定期的な記者レクの実施
- Web サイトを活用した一般へのコンテンツ提供の重要性
- 経営者や一般投資家への周知や広告
- 今後の活動計画の概要

なお、マスコミの理解向上に向けた施策の一環として、平成 23 年 1 月 20 日に、新井広報委員長が東京証券取引所において 40 名超の記者を集めて、記者レクを実施したほか、こうした取り組みを、引き続き、続けることが予定されている。

(5) その他

上記のほか、平成 22 年 12 月に東京財団より公表されている「日本の IFRS（国際財務報告基準）対応に関する提言」について質問等がなされ、情報交換が行われた。

3

IFRS 対応会議主催の記者懇談会について

IFRS 対応会議（広報委員会）は、第 8 回会議の直後に、記者懇談会を開催した。記者懇談会では、冒頭、萩原議長から挨拶があったほか、島崎国際対応委員会委員長より IFRS 財団サテライトオフィスについて、ASBJ 西川委員長より最近の会計基準の動向について説明が行われた。懇親会には、50 名を超えるメディア関係者が出席され、対応会議メンバー等との活発な情報・意見交換が行われた。